

市長に、カジノノ誘致断念を強く迫る!!

カジノ解禁を狙う政府は、日本のカジノ構想の具体化のため有識者会議を組織、7月末に報告書がまとまりました。

華美なものではないとダメ

報告書が求めている日本型カジノは、日本を代表し、世界一級の国際会議場、エンターテインメント施設を備えたものと規定。市長の「アイヌ文化や自然とマッチした」のではなく、市長が決して目指さないと断っていたラスベガスのカジノそのものです。市長のこれまでの説明は、まったく根拠がなくなりました。

運営事業者のメドなし

報告書は、国に計画を出す前にカジノの運営会社を決め、しっかりと協議して計画を策定するよう求めています。しかし、釧路市には、その相手はいません。「二人三脚と国は言っているのに、パートナーもないのでは、スタートラインに立てない。キツパリ誘致をやめよ。」と迫りました。

村上かずしげ議員の9月議会質問

依存症対策は空論ばかり

依存症対策・マネーロンダリング防止、暴力団対策。メニューは並んでいくように見えますが、実効性のないものばかりです。鳥畑静岡大学教授は「大規模な施設を運営しながら、この規制水準を保つことはかなりハードルが高い。地方都市にIRが整備された場合、どこまで維持できるのか。」と語っています。



鉄道高架では津波から命を守れない

巨大津波が来たら、橋北地区の車が逃げられなくなるので、鉄道を高架にした。このごろ市が強調している話です。果たかも、高架にすれば安全な避難ができるかのようない方です。「鉄道高架にしたなら、市が定めた避難時間30分で、車は安全なところに避難できるのか。」と質問。市は「五つのケースをシミュレーションしたが、いずれのケースも30分では避難は完了しない。」と認めました。「大津波警報が出たら、直ちに車を止めて近くの高い建物に逃げ込む。」これが一番確実な避難方法です。



日本共産党
村上かずしげ通信 9.24
発行 日本共産党釧路市議団

阿寒湖畔スキー場での自衛隊訓練反対 スキー場の使用許可を取り消せ

9月16日から22日まで、阿寒湖畔スキー場で自衛隊北千歳駐屯地の第一地对艦ミサイル連隊の訓練が行われます。弟子屈町で行われる学校の跡地でのミサイル発射の手順を確認する訓練とリンクした指揮所活動と通信などの訓練です。市有施設を危険な訓練に使うことは許されません。しかも、釧路市は8月23日で市長名で使用許可を出しているのに、市長が訓練そのものを聞いたのは9月8日と答弁、にわかには信じられません。スキー場の使用許可を取り消し、訓練を中止するよう申し入れよと質問しましたが、「自衛隊の訓練は全て必要なもの」と答弁、開き直りました。

危険な舌辛川の土砂と倒木を撤去

阿寒町本町地区の舌辛川、度重なる増水で土砂がごっそりたまり、大きな中州ができるほどに。しかも富士見橋の橋ゲタには大量の流木が引つか

かっています。台風や豪雨のときには、河川氾濫のきっかけにもなりかねません。地域住民から寄せられた声を代弁して、「土砂

と流木を撤去してほしい」と質問しました。



撤去前



富士見橋の流木

撤去後



質問の翌週には、流木の撤去工事が大がかりに行われ、堆積土砂のしゅんせつも、来年の1月から行われることになりました。まずは、一安心です。

でも、堆積土砂の量は半端なものではありません。秋口に大型台風でもきたら、災害の発生も危惧されます。一刻も早い土砂撤去と万全の災害防止対策を要望しました。



土砂がたまり、川の流れが狭くなっている。